

KISC

公益財団法人 かごしま産業支援センター
Kagoshima Industry Support Center

創業や研究開発に
取り組むあなたを応援します



大口酒造 株式会社

代表取締役社長
むこうはら えいさく
向原 英作さん

春号

2014

今月の表紙



甕伊佐錦

伊佐小町

大口酒造株式会社

代表取締役 ^{むこうはら} 向原 ^{えいさく} 英作

<企業概要>

所在地 伊佐市大口原田643
 設立 昭和45年8月
 従業員数 103名
 TEL 0995-22-1213
 FAX 0995-22-9381
 URL <http://www.isanishiki.com/>
 E-mail okuchi@isanishiki.com

今月の表紙は、地域の商工業に貢献した企業・団体に贈る鹿児島商工会議所の「第20回産業経済賞」の「大賞」を受賞された大口酒造株式会社代表取締役社長の向原英作さんです。

同社は、昭和45年の創業以来、一貫して本格焼酎を製造販売。昭和62年には黒麹仕込みの「黒伊佐錦」を開発し、芋焼酎業界に黒ブームを起こすきっかけとなり、現在も広く愛飲されています。平成25酒造年度鹿児島県本格焼酎鑑評会や熊本国税局の平成26年酒類鑑評会でも優等賞を受賞されました。

◇新しい焼酎の開発

20年程前より県工業技術センターと共同研究し、サツマ芋の品種を変えると酒質が変わる事を解明。その成果を基にイモ焼酎特有の匂いを抑えた「伊佐舞」を開発されました。

また、かごしま産業支援センターの助成金を活用し、花や紅茶、トロピカルフルーツなどの華やかな香りのアルコール13度の「伊佐小町」を開発し、平成24年度の県特産品コンクールで理事長賞を、県加工食品コンクールで最優秀賞を受賞されるなど高い評価を得ています。

◇全社で取り組む環境保全活動

「過去活動はエコ活動」という考えの基、(株)ジャパンファームと連携して、焼酎かすを従来の配合飼料と混ぜ、液体飼料化して豚のえさとして提供

する「リキッドフィーリングシステム」を実現。また、5合瓶のリユース瓶への切替え、パックのフィルム包装廃止、エコアクション21の推進など環境に配慮した取組により、平成20年10月環境大臣賞を受賞されています。

さらに、定期健診・二次検診の100%受診、脳ドッグの受診など従業員の健康管理の取組みや健康増進のため徒歩や自転車通勤する社員に「エコ通勤手当」制度の導入などの取組みが評価され、平成26年4月、日本政策投資銀行の「健康経営格付」を県内で初めて取得されました。

現在、主力商品の「黒伊佐錦」のほか、原酒を甕で3年貯蔵した「甕伊佐錦」、より手軽に焼酎を楽しんでもらうため13～25度までの度数を揃えた200ミリリットル入りの「ショットバーシリーズ」などを展開されています。

今後も芋焼酎一本。良質な水や気候に恵まれた当地で伝統の技と近代的製法の融合した、地元鹿児島の人に愛される焼酎を造り続けていきたいとの向原社長のお話でした。



過去活動はエコ活動

過去活動はエコ活動。良質な水や気候に恵まれた当地で伝統の技と近代的製法の融合した、地元鹿児島の人に愛される焼酎を造り続けていきたいとの向原社長のお話でした。

CONTENTS

- 2 今月の表紙
- 3 私の思い!
- 4 特集「かごしま産業支援センター平成26年度主要事業の紹介」
- 10 特集「鹿児島県食品関連産業振興プロジェクト」
- 11 わが社の輝く女性!
ジャパンポーレックス(株) 上岡 佳世子さん
- 12 がんばる進出企業 (株)サツマ超硬精密
- 13 取引振興コーナー
- 14 ベンチャープラザコーナー
- 16 かごしま産業支援センター組織・機構

情報KISC SPRING 2014

発行者: 公益財団法人 かごしま産業支援センター
 〒892-0821 鹿児島市名山区9-1
 鹿児島県産業会館2F
 TEL 099-219-1270 (代表)
 FAX 099-219-1279
 E-mail kisc@kric.or.jp
 URL <http://www.kric.or.jp>

私の 思い



独立行政法人国立高等専門学校機構

鹿児島工業高等専門学校

校長 丁子 哲治

昭和50年 金沢大学助手。

平成4年 同講師。

平成4年10月

富山工業高等専門学校 助教授。

教授、校長補佐（研究・地域連携担当）、副校長等を歴任。

平成26年4月より現職。

国際的・実践的・創造的技術者育成で地域貢献

鹿児島工業高等専門学校は、鹿児島県と地域の産業界の強い要望に応じて昭和38年4月に設置され、中学卒業生を受け入れて早期からの5年一貫（準学士課程）あるいは7年一貫（専攻科）の技術者教育を行う高等教育機関です。

設立以来、半世紀を超えて輩出してきた卒業生は、工業を中心とした分野で幅広く活躍し、社会から高い評価を受けています。

創造性豊かな開発型技術者の育成

高等専門学校が設立された時代は、我が国が高度経済成長を目指し、欧米の技術を取り入れることによって経済発展を遂げようとする、いわゆるキャッチアップの時代でした。しかし、やがて経済的には世界のトップクラスとなり、既にフロントランナーとなった我が国では、技術は外から取り入れるのではなく、自らが作り出すことが不可欠となっております。

このような産業界に技術者を送り出す高専としては、必然的に創造性に富んだ開発型技術者育成が求められており、その要請に応えられる教育に取り組んでいます。

進化したグローバル化

さらに、我が国の産業界はすでにグローバル時代であり、当然、そのような中で活躍しなければならない技術者にもグローバル化が不可欠となっています。グローバル化には単に英語力だけではなく、文化が異なる場合でも互いに理解しあえる

コミュニケーション力が必要です。

鹿児島高専では特に東南アジア諸国との学生交流事業に力を入れています。

少子化を乗り越えて地域への貢献

少子化の問題は、大学にも同じように志願者減の問題として大きな課題となっています。

しかし、そもそも高専は、50年前の設置時から地域の優秀な人材を地域で活かし、地域の発展に貢献することを使命としてきたのではないかと考えております。そのため、鹿児島高専では地域の少子化を乗り越えるためにも、地域の発展に貢献する優秀な卒業生を一人でも多く輩出することを目指しております。

これらの活動を通して、地域社会が誇りとする総合大学を目指します。

国立高専機構は我が国第二の規模の高等教育機関

全国の高専は、それぞれの地域に密着した特色を出していますが、世界に出て行ったときには、学生数1000人程度の学校ではなかなか相手にしてもらえません。

その時は、鹿児島高専は、東京大学に次ぐ我が国第二の規模を誇る高等教育機関である学生数5万人の独立行政法人国立高等専門学校機構の一員であるという立場で臨んでいます。



かごしま産業支援センター 平成26年度主要事業の紹介

当財団では、平成 26 年 3 月に理事会及び評議員会を開催し、平成 26 年度の事業計画を決定しました。概要は次のとおりです。

I 創業、経営革新及びマーケティングに関する支援

1 新事業創出等支援 232,354千円

コーディネーター等の設置、経営・技術専門家の派遣、インキュベーターの提供などにより、新事業の創出と新産業の育成を支援します。

・マッチング・コーディネート事業

【中小企業の多様なニーズに対応した事業を円滑に遂行するために、コーディネーター（2名 製造業・経営全般）による支援】

・専門家派遣事業

【経営の向上を目指す企業の経営診断、助言を行う専門家の派遣（1企業当たり年間10回程度）】

・中小製造業者創業・新分野進出等支援事業

【創業や新分野進出、規模拡大に取り組む中小製造業者を総合的に支援】

対象業種	自動車、電子、食品、環境・新エネルギー、健康・医療、バイオ関連の製造業
支援内容	経営計画の策定、経営計画の実施（試作・研究開発、人材育成、マーケティング・販路開拓、専門家の招へい）
助成率等	2/3 以内又は 1/2 以内（限度額 支援内容により 80～400万円） 助成期間 3年度以内

・ビジネスインキュベーター利用促進事業

【起業家や新分野への展開を目指す企業等への活動拠点の提供（20室）、経営・技術等の多様な支援】

◇新規事業◇

・よろず支援拠点事業

全国47都道府県に各1ヵ所設置し、中小企業の相談に応じて、課題解決に最適な支援を行う「よろず支援拠点」を当センターに設置します。よろず支援拠点には、新たにコーディネーターとアシスタントを配置し、次に掲げる業務を行います。

- (1) 総合的・先進的経営アドバイス
解決が困難な経営相談に応じ、一定の解決策の提示やフォローアップを実施
- (2) チーム編成を通じた支援
中小企業の課題に応じた適切な支援チームを組んで支援
- (3) ワンストップサービス
経営課題に応じて、的確な支援機関・専門家を紹介

【参 考】平成25年度主要実績

専門家派遣	派遣件数 12社 (66回)
ビジネスインキュベータ利用	入居企業数 15社 (26年3月末)
中小製造業者創業・新分野進出等	20件 (助成額 38,676千円)
(株)A・R・P (鹿児島市)	土壌水分センサーを用いた計測ソリューション事業の拡大
(株)オーケー社鹿児島 (鹿児島市)	食品加工分野における新たな殺菌装置の開発
鹿児島県バイオフォレスト事業協 (鹿児島市)	木質バイオマスをを用いた燃料化技術の研究・加工・販売事業
徳田 公一 (タートルベイ醸造) (徳之島町)	奄美地方の産品を原料にした酒類、飲料、加工品等の製造販売
鹿児島高槻電器工業(株) (南さつま市)	植物栽培用 LED 照明ビジネスへの参入
(株)南光 (鹿児島市)	太陽光パネル関連部品 (架台等) の新製品開発及び製造・販売
(有)徳重製菓とらや (霧島市)	洋菓子部門への本格的進出にともなう試験研究開発と市場開拓
三州産業(株) (鹿児島市)	木質系及び竹質系バイオマス燃料温風暖房機の開発
(有)鹿児島ますや (始良市)	自社独自の無添加加工食品の試作開発と市場開拓
(株)省力化技研 (日置市)	電子部品の超高速生産設備 (検査等) の開発
(株)下堂園 (鹿児島市)	急須で飲むワイン感覚で楽しめる高級ボトリングティー製造販売事業
(株)小田豊商会 (鹿児島市)	介護福祉商品 水及び汚れに強いプラスチック系の商品開発
(株)シマヤ商事 (南種子町)	種子島産しじみを活用した新商品の開発及びマーケティング事業
河口 修 (居酒屋民宿 珊瑚礁) (西之表市)	種子島の漁業資源を活用した新商品開発とマーケティング事業
国分電機(株) (霧島市)	車載 LED ヘッドランプ用ダイキャスト部品の試作開発
(株)ハマ製作所 (南さつま市)	スマートフォン用高画素カメラレンズ組立装置の性能検証
アロン電機(株) (さつま町)	ハニカム金型の加工方法開発および試作品開発
(有)ヤマチョウ (南さつま市)	自社養殖のカンパチ・ぶりの商品開発、販売・販路開拓事業
(株)日本計器鹿児島製作所 (南九州市)	茶園用省力化作業システムの開発
福山黒酢(株) (霧島市)	梅志田の新商品開発やライン増設等

2 マーケティング等支援 45,542千円

新製品等の国内や海外への販路開拓、商談会の開催、異業種との連携等の促進や、市場ニーズ調査結果の事業化等の支援を行うとともに、アドバイザーの巡回、企業の登録・取引紹介あっせんなどにより、マーケティング等を支援します。

- ・ベンチャープラザ鹿児島「二水会」開催事業

【ベンチャー企業等へ新製品・新技術等の発表の場を提供し、販路拡大等の取組みを支援 (年3回)】

- ・新市場販路開拓助成事業

【県外展示商談会への共同出展】

- ・新事業等参入調査支援事業

【新分野参入等の事前調査等に要する経費の一部助成】

- ・国内新市場開拓事業

【新市場開拓を図るための国内展示会出展、市場調査に要する経費の一部助成】

- ・海外新市場開拓事業

【新市場開拓を図るための海外展示会出展、市場調査に要する経費の一部助成】

- ・ビジネスマッチング支援事業

【県内外の発注企業との商談会を開催し、新規取引先の開拓、販路拡大を支援
(かごしま取引商談会11月開催 ミニ商談会2回開催)】

・取引企業販路開拓専門員設置事業

【専門員を設置し、下請企業の取引状況の把握、発注企業の情報収集提供、取引あっせんを実施】

・モノづくり情報収集提供事業

【県内外の発注情報調査、県受注企業名簿の作成、取引あっせんの実施、九州7県合同広域商談会の開催】

・下請かけこみ寺事業

【取引に関するトラブルなどの相談の実施、移動弁護士相談会の実施

(県内4か所)】

◇新規事業◇

・新規販路開拓支援事業

県外展示会等で当センターのブースを確保し、県内中小企業に提供します。

(県外展示会の出展支援 2回 各3ブース)

・鹿児島・神奈川ビジネスマッチング支援事業

神奈川県の工業見本市にブースを設け、県内中小企業の受注機会や販路の拡大を図ります。

(展示会 1回 受発注商談会 1回)

【参 考】平成25年度主要実績

ベンチャープラザ開催	4回開催(県内企業8社、県外企業4社発表)
国内市場開拓	助成件数35件(助成金額 8,348千円)
海外市場開拓	助成件数3件(助成金額 1,306千円)
ビジネスマッチング支援 かごしま取引商談会	発注企業31社(うち県内企業2社)、受注企業66社、 成立件数16件※
取引企業販路開拓専門員設置	企業訪問241社、発注情報提供52件、成立16件※
製造業緊急新規取引先開拓支援 展示会出展 ミニ商談会開催	2回出展(出展26社 成立7件※) 3回開催(発注企業15社 受注企業78社 成立7件※)
モノづくり情報収集提供 取引あっせん実績	あっせん288件 成立100件(※を含む) 九州7県合同広域商談会1回開催 成立2件※
下請かけこみ寺	窓口相談30件 無料弁護士相談8件 移動弁護士相談会4回開催

3 情報化支援 7,696千円

情報誌・HPのサービスや、ITセミナー・研修、EC等活用アドバイザーの設置・派遣などにより、情報化を支援します。

・情報誌作成事業

【情報誌「KISC」を発行(4回)し、産学官連携やセンター支援事業等の情報発信・提供】

・情報化支援事業

【インターネットやメールマガジン等による情報提供】

・ICT高度活用促進事業

【ITセミナー開催、情報化アドバイザー派遣、EC等活用アドバイザー設置】

II 研究開発・技術に関する支援

1 研究開発・技術支援 28,612千円

産学官の連携、大学等技術シーズのマッチング、新技術・新製品開発の助成などにより、研究開発や技術開発等を支援します。

・地域中小企業外国出願支援事業

【外国の特許出願等に要する経費の一部助成（特許・意匠・商標・実用新案、冒認対策商標）】

支援内容	外国特許等の出願手数料、代理人費用、翻訳費用等
助成率等	1/2以内（限度額 1企業につき総額300万円、1出願につき30～150万円） 助成期間 単年度

・新事業研究開発助成事業

【技術高度化を志向する中小企業等の研究開発等に要する経費の一部助成】

支援内容	新技術・新製品・試作品等開発、生産工程合理化、製品の高付加価値化、地域資源の活用等
助成率等	2/3以内（限度額 300万円） 助成期間 単年度

・地域技術提携起業化事業

【起業化を図る中小企業グループの製品開発等に要する経費の一部助成】

支援内容	商品・デザイン開発、情報収集、生産工程、市場開拓、能力開発
助成率等	8/10以内（限度額 300万円） 助成期間 単年度

・新分野参入研究開発助成事業

【企業撤退等の影響を受けた機械、金属、電子関連産業等中小企業の新分野の研究開発に要する経費の一部助成】

支援内容	新分野に係る新技術・新製品の研究開発等
助成率等	2/3以内（限度額 380万円） 助成期間 2年度以内

・かごしま産業技術賞事業

【最近3年間に研究開発型企業等が開発した優れた新製品等の顕彰】

【参 考】平成25年度主要実績

地域中小企業外国出願支援	特許4件、商標2件（助成額5,927千円）
（株）エルム（南さつま市）	安価で特性の優れたLED発光装置及びその製造方法の提供
（株）J S V（鹿児島市）	二次電池の蓄電能力劣化防止と再生及び蓄電量計測装置
カクイ（株）（鹿児島市）	セロピオースを有効成分とする抗腫瘍剤
霧島高原ビール（株）（霧島市）	各種廃棄物処理を容易にするための方法
朝日酒造（株）（喜界町）	黒糖焼酎銘柄「奄美朝日」登録
（株）ロスフィー（鹿児島市）	日除け商品のイメージを英語表記「COMOLEVI」で登録
研究開発助成	3件（助成額6,000千円）
太陽ガス（株）（日置市）	農山村地域に活用可能な蓄電機能を付加した水力発電装置の開発
（有）井上金網製作所（阿久根市）	二輪盗難防止装置の開発
（有）富ヶ原組（日置市）	ブッシュチョッパー粉砕物の有効利用
新分野参入研究開発	1件（助成額3,800千円）
加世田電子工業（株）（南さつま市）	航空機用内装部品製造開発

2 戦略的産業振興支援 208,325千円

自動車・電子・食品・成長産業（環境・新エネルギー、健康・医療、バイオ関連産業）に関する経営計画作成等や新技術等開発などを支援します。

・中核的企業創出プログラム事業

【経営計画の作成、計画の実施に要する経費の一部助成】

対象業種	自動車、電子、食品、環境・新エネルギー、健康・医療、バイオ関連産業
支援内容	経営計画作成、経営計画の実施（新技術・新製品研究開発、従業員の先進企業への派遣、専門家の招へい、商談会・展示会の参加）
助成率等	2/3以内（限度額 3年度で1,200万円以内） 助成期間 3年度以内

・重点業種研究開発支援事業

【新技術、新製品の開発に要する経費の一部助成】

対 象 業 種	自動車、電子、環境・エネルギー産業、健康・医療産業、バイオ関連産業
支 援 内 容	新技術・新製品の研究開発
助 成 率 等	2/3 以内（限度額 年 400 万円以内） 助成期間 2 年度以内

◇新規事業◇

・かごしまの「食」付加価値向上対策事業

国内外の有力な市場を対象に、本県の豊富な一次産品を生かしながら、現地のニーズに対応した新商品開発や販路開拓など、県内の食品関連事業者が行う付加価値向上等に向けた取組を支援します。
(セミナー・個別相談会の開催、食品関連事業者への助成)

・食品加工技術強化事業

食品関連企業の加工技術強化を図るため、食品関連企業の技術的ニーズと機械製造業者の技術的シーズをマッチングした産学官連携による機械装置等の研究開発を支援します。
(コーディネーター 2 名による支援)

・食品関連企業利益力アップ支援事業

食品関連企業の生産体制を見直し、利益力を高めるため、生産管理の経験を有する「カイゼンコーディネーター」を配置し、利益力を高めるための課題解決等に向けた取り組みを支援します。
(カイゼンコーディネーター 2 名による食品関連企業の訪問・支援、セミナー(2 回程度)の開催)

【参 考】平成25年度主要実績

中核的企业創出プログラム事業	5 件（1 件当たり事業費 1,581 ～ 3,532 千円）
(株)アーダン（奄美市）	シルクを主原料とした医薬部外品の製造と販売体制の確立
(有)K・アクセス（鹿児島市）	エンドユーザーのニーズに合わせたコンセプトカーの製造・販売
(株)ジーピーフーズ（薩摩川内市）	さつまいもスイーツの新商品開発と販売チャネルの確立
藤安醸造(株)（鹿児島市）	「黒さつま鶏」などを活用した新商品開発と販路開拓
交和電気産業(株)（出水市）	大型LED照明の開発・製造・販売
重点業種研究開発支援事業	4 件（1 件当たり事業費 2,247 ～ 3,274 千円）
(株)秦野精密（さつま町）	自動車用機械部品の開発
(株)スマートエンジニアリング（鹿屋市）	防災対応した基幹放送二重化を担うコーデック機の開発
(株)エルム（南さつま市）	安納芋の糖度測定装置の開発
(株)サンライズ精工（霧島市）	光通信用シールリングの低コスト高効率成形技術の開発

3 地域資源活用支援 29,906千円

地域資源の活用や、農林漁業と商工業の連携による新商品・新サービスの開発・販路開拓等の助成により、起業化や新事業の創出を支援します。

・地域資源活用起業家支援事業

【起業に向けた新商品・新サービスの開発、販路開拓等に要する経費の一部助成】

・地域資源活用・農商工等連携新事業創出支援事業

【事業化や農商工等連携の取組に要する経費の一部助成】

支 援 内 容	新技術・新製品の開発、製品高付加価値化、商品デザイン開発、生産システムの改良・高度化、販路開発等
助 成 率 等	2/3 以内（限度額 年 300 万円以内） 助成期間 2 年度以内

【参 考】平成25年度主要実績

地域資源活用起業家支援事業	3 件（1 件当たり事業費 723 ～ 2,515 千円）
（株）美ごしか（始良市）	温泉と火山灰白土成分のヘアケア商品の企画・販売
（有）環境システム（鹿屋市）	地域資源を活用した着地型旅行の企画実施
霧島燻製ファクトリー（霧島市）	地域畜産物を活用した新工法による食肉燻製加工・販売
地域資源活用・農商工等連携	9 件（1 件当たり事業費 156 ～ 3,000 千円）
（有）エコテック（さつま町）	鹿児島特産のハウスきんかんを使ったセミドライフルーツの製品化
佐野製糖（喜界町）	黒糖と潤命草による健康に良い新商品開発・販売
（有）エール（指宿市）	鹿児島県産竹炭を活用した高機能性ネットの開発
上原産業（有）（南九州市）	澱粉粕と鶏糞による連続発酵肥料化の研究
（資）フジカンパニー（与論町）	生姜と黒糖及び野菜・果物のシロップ開発
（株）オーケー社鹿児島（鹿児島市）	シラス断熱材を利用したバイオマスボイラーの開発と実用化
新洋水産（有）（いちき串木野市）	マグロ血合いの活用方法と製品化
福山黒酢（株）（霧島市）	黒酢の風味改良技術の開発
くるくま草（南九州市）	ドライ塩麴の開発と応用、販路拡大

Ⅲ 技術者等の育成に関する支援

人材育成支援 7,164千円

生産管理に関する講座を開催するなど、人材育成を支援します。

・高度技術活用人材育成事業

【生産管理等に関する管理技術講座、IT技術活用人材育成講座の開催】

Ⅳ 地域経済の活性化に関する支援

口蹄疫対策地域活性化支援 104,200千円

口蹄疫の発生による地域経済の速やかな回復を図るため、地域経済の活性化に寄与する取組み及び観光活性化対策を支援します。

・口蹄疫対策地域活性化事業

【商店街活性化支援、本県産食肉の流通支援、観光活性化支援】

【参 考】平成25年度主要事業

商店街活性化支援 地域再生・元気づくりイベント等支援	助成件数 11 件（助成額 10,000 千円）
本県産食肉の流通支援 県産牛肉・豚肉ギフト券付地域商品券発行支援	〃 5 件（〃 20,909 千円）
かごしま黒牛・黒豚高付加価値 PR 推進	〃 4 件（〃 9,909 千円）
地場畜産物の需要拡大対策	〃 1 件（〃 10,000 千円）
観光活性化対策	〃 1 件（〃 23,900 千円）

特 集

鹿児島県「食品関連産業振興プロジェクト」 ～かごしま発「食」が生み出す雇用創造～

鹿児島県では、本県の工業製品出荷額の約5割を占める食品関連産業の一層の振興と雇用の創出を図るため、平成26年度から3年間、食品関連企業等を対象に、経営者向けセミナーの開催などによる経営力強化の取組や、新商品開発などの高付加価値化の取組を支援するとともに、食品関連産業への求職者を対象にした就業体験などによる人材の確保、県中小企業融資制度による資金調達の円滑化などに重点的に取り組む「食品関連産業振興プロジェクト」を推進することとしています。

平成26年度予算額 421,400千円 ※ 戦略産業雇用創造プロジェクト事業（厚労省）を活用

(1) 経営革新等に対する支援 【70,746千円】

- ① 食品関連産業経営者塾事業
 - ・ 食品関連企業等の経営者向けセミナーの実施
 - ・ マーケティングの課題把握の実践の場となるブラッシュアップ商談会の開催
- ② 食の専門家チーム派遣事業
 - ・ ブラッシュアップ商談会等での課題解決を図るため、食品関連企業等に対して新商品開発等に関する専門家チームを派遣
- ③ かごしまの「食」機能性評価システム構築事業
 - ・ 食の機能性を客観的に評価するためのシステム構築に向けた検討
- ④ 食品関連産業推進協議会事業
 - ・ 食品関連産業振興プロジェクトを推進するための協議会を設置

(2) 個々の事業者に対する支援 【250,614千円】

- ① かごしまの「食」付加価値向上対策事業
 - ・ 食品関連企業等が新たに専門人材を雇用し、新商品開発や販路開拓、マーケティングなど付加価値向上に取り組む場合の人件費や商談会出展経費等を助成
- ② 安心・安全な食の認証取得促進事業
 - ・ 食の認証取得アドバイザーの配置
 - ・ 食品関連企業等が新たに専門人材を雇用し、H A C C P等認証取得に取り組む場合の人件費や研修費用等を助成
- ③ 食品加工技術強化事業
 - ・ 食品関連企業等が求める加工上の技術的ニーズと機械製造業者の持つ技術的シーズをマッチングした産学官連携による機械装置等の研究開発を支援

(3) 求職者に対する支援 【100,040千円】

- ① 食品関連産業魅力発見事業
 - ・ 県内各地の食品関連企業等を訪問する職業魅力発見ツアーを実施
- ② 食品関連産業就業体験事業
 - ・ 食品関連企業等での就業体験を実施
- ③ 食品関連産業人材確保支援事業
 - ・ 食品関連企業等を対象とした就職面談会を実施
- ④ 食品関連産業新規求職者就職応援事業
 - ・ 求職者に研修を実施した上で、食品関連企業等への派遣によるトライアル雇用を実施
- ⑤ 食品関連産業エキスパート養成・派遣事業
 - ・ 営業・企画等の専門知識を有する求職者を対象に、専門人材が不足している食品関連企業等への派遣によるトライアル雇用を実施

(4) 「食プロ」に連動した利子補給等の支援施策

- ① 戦略産業雇用創造プロジェクト関連融資利子補給事業 <国>
 - ・ 設備投資等に併せて一定数以上の新規雇用を行う食品関連企業等に対し、利子補給を実施（融資の1%を上限、最大5年）
- ② かごしま産業おこし資金
 - ・ 食品関連企業等の運転資金・設備資金の借り入れに対する信用保証料率の引き下げ（年0.13%～年1.58% → 年0%～年1.26%）
- ③ 地域雇用開発奨励金の上乗せ <国>
 - ・ 食品関連企業等が施設整備と併せて雇入れを行った場合に、地域雇用開発助成金に上乗せて助成（50万円／1人）

※詳細については、今後、県HPや関係団体等を通じてお知らせします。

鹿児島県 商工政策課 食品関連産業推進担当 朝倉、本村 TEL：099-286-2920 FAX：099-286-5574

わが社の輝く女性！

今号は、コーヒーマイルなど家庭用品を中心に精巧なセラミック製品を企画・開発。
自社の鹿児島工場で生産されているジャパンポーレックス（株）の代表取締役上岡
佳世子さんです。

ジャパンポーレックス株式会社

本 社：大阪府箕面市萱野1-1-28
鹿児島工場：霧島市横川町上ノ1800
設 立：昭和53年11月
従 業 員 数：42名
T E L：0995-72-0307
F A X：0995-72-1434
U R L：<http://www.porlex.co.jp/>

かみおか 佳世子 代表取締役

◇桜島小みかんが大好きです。特に
まるごと砂糖漬けのお菓子は大変
美味しいと思います。
◇深蒸し茶も大好きで、海外取引先
にも霧島茶を送り、私どものお茶
ミルで細かく挽いてバスマイルにかけ
たり楽しんでいただいています。



◇会社の紹介

自社で企画・開発をしたセラミック製品（岩塩・胡椒・ごま・茶葉・コーヒー豆を挽くミルの刃やおろし、しょうゆ差し）を霧島市の自社工場で生産しています。

製品を生産する装置や機械類も、全て自社で開発・設計しています。

セラミック製品は自社独自の成形方法を持ち、また、自社独自のシリコーンを高精度に密着させる技術をおろし製品の底面やしょうゆ差しの蓋や注ぎ口や底面にも使うことにより、オリジナリティのある製品にしています。



ポーレックスセラミックお茶ミル

◇経営理念は「丁寧」です

お取引先様やお客様への対応のみではなく、社内での丁寧な説明そして言葉遣い、特に上司の部下に対する丁寧な姿勢です。

そして、製品、資材、資料、備品等全ての物を丁寧に扱うことです。簡単そうで難しいと感じています。事実、まだ社内での徹底が出来ておりません。まずは私自身が出来ていないといけません。外に眼を向けがちですが、社内で出来ていないことを社外では出来ません。

◇従業員への思い

私は心から全従業員が好きです。

可能な限り対話をもつように心がけており、それが私のエネルギーの源です。

常に探究心を持つことを望んでいます。何事もよく考え、対策が見つかったら実際に試し、それが上手くいかなかった場合、そこであきらめるのではなく、また考えて試してほしいと思います。そして変化を恐れないでほしいと思っています。

さまざまな事情から会社を去ることを決断する従業員には、ここでの日々が無駄にならないように、在籍時に何か一つでも習得してほしいと思っています。そして、次の新たな道をしっかりと歩んでほしいと願っております。

◇趣味は読書と音楽鑑賞です

須賀敦子さんの文章表現、マルグリット・デュラスさんの感性が凄く好きで、坂口安吾さんの物事の捉え方に深い興味を抱いています。今は毎日、実務書を読み勉強することが最優先ですので、それらの本を読む時間はあまりありません。

また、バッハの無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータが好きで、第2番シャコンヌは週に何度も聴きます。



しょうゆ差し



コーヒーマイル

◇今後の抱負

ジャパンポーレックスだからこそできる製品を全工程において丁寧に作ること。

そしてなによりも、従業員一人一人が自分達の製品を誇りに思ってもらいたいと望んでおります。

がんばる進出企業

株式会社 サツマ超硬精密

■会社概要

株式会社サツマ超硬精密は、昭和46年1月大阪府大東市で創業、昭和59年には吾平町に鹿児島工場を建設しました。以来、順送プレス金型、単発トランスファー金型の設計製作をはじめ、各種素材による治工具及びF A 機器精密部品の製造まで社内にて一貫生産しています。平成20年には製造部門を鹿児島工場に集約し、今年2月には鹿屋市立地企業定着補助金を受け、金型部品専用の新工場を稼働、設備も一新しました。

■鹿児島進出の理由

当時バブルに向かう前で、人材、土地、工場の確保が難しい時代で、社長の出身地でもあり、誘致活動に力をいれていた吾平町に進出しました。また、製造部門46名の従業員もすべて地元で採用しており、女性の技術者も現在7名在籍しています。

■当社の優れた技術

当社は、旋盤、マシニング、ワイヤー、放電、研磨、プロファイル等のNC機を多数設備し、超硬、炭素鋼、セラミック、アルミ、ダイス鋼、ステンレス、ハイス鋼、銅、粉末ハイス鋼など素材の性質を加味し、超硬部品、自動機部品、金型部品、特殊刃物、精密治工具、ロー付部品、精密機械部品、焼きばめ部品など、あらゆる部品及び金型の設計・製作まで自社内で一貫生産しています。

また、素材・技能・精度・ロット・納期・コストに至るまで、万全の生産体制と確かな技術でお客様のニーズに応え、付加価値の高い製品づくりに邁進しています。



当 社 製 品

■当社の経営理念

材質に縛られることなく、すべての加工工程を自社で一貫生産できることから、製品等を特定せず、幅広く対応できる体制を整えています。時代の流れが速い現在、何かに絞って邁進するのではなく、フレキシブルに対応していきたいと考えています。リー

株式会社 サツマ超硬精密

代 表 者：代表取締役 田 尻 忠 信

本社所在地：大阪府大東市新田中町2-9

鹿児島工場：鹿屋市吾平町上名 3381-1

設 立：昭和46年1月

資 本 金：1,000万円

従業員数：55名

事業内容：超硬加工・精密部品、金型設計・加工

T E L：072-871-6714

F A X：072-871-6641

U R L：<http://www.satsumanet.co.jp>

マンショックやITバブルなどにあっても大きく影響がなくやってこられたのは、確かな技術の裏打ちを基に、時代の流れに対応し、いつでも柔軟に対応できるような体制を整えていたからだと思います。



工場内作業の様子

■今後の展望・豊富

現在ベトナムの技術者を受け入れています。今後10人程度を受け入れ、実力が付いた彼らが現地に工場を立ち上げる際に、技術・設備支援等を行い、連携を図りたいと考えています。

今年2月の金型部品専用工場の稼働に合わせ、NC旋盤、NC放電加工機などの設備も一新しました。私たちはスペシャリストの集合体であり、ゼネラリストを目指すという考えの基、今後も超精密、高精度の加工技術の開発に尽力し、すべてのお客様に満足いただけるよう、提案型創造型製造企業として努力してまいります。



株式会社 サツマ超硬精密



取引振興コーナー



◆下請代金支払遅延等防止法（下請法）Q&A

問： A社は、顧客から値下要請があったことを理由として、下請事業者と協議することなく、一方的に、前年から5%下げた単価を定めた。A社の行為は、下請法に違反するでしょうか？

答： 下請法第4条第1項第5号（買いたたきの禁止）の規定に違反します。

解説： 下請法上、親事業者は、下請代金の額を決定するときに、通常支払われる対価に比べて著しく低い額を不当に定めてはなりません。

この問題のように、下請事業者と協議することなく、一方的に、前年から5%下げた単価を定めることは、通常支払われる対価に比べて著しく低い額になるおそれがありますので違反することになります。

この問題のほか、買いたたきのおそれがある行為としては、大量に発注することを前提にした単価による少量の発注行為、一律一定率の単価引下げ行為、短納期発注に伴う費用増を考慮しない行為などが挙げられます。

【下請法の相談はこちらに】

- 公正取引委員会事務総局 九州事務所 下請課 092-431-6032
- 下請かけこみ寺（公益財団法人 かごしま産業支援センター）
フリーダイヤル 0120-418-618

◆お知らせ

展示会への出展予定

県外で開催される展示会に、鹿児島県のブースを確保し、出展を希望される県内中小企業者の方々に提供し、取引先開拓、販路開拓を支援します。

- 機械要素技術展（東京） 平成26年6月25日～27日 東京ビッグサイト
- 機械要素技術展（関西） 平成26年9月24日～26日 インテックス大阪

商談会の開催

県内外の発注企業を招へいし、県内受注企業との個別面談を実施し、受発注情報の交換を行うことにより、県内中小企業の取引先開拓、販路開拓を支援します。

- かごしま取引商談会の開催
発注企業30社程度、受注企業70社程度が一堂に会して、平成26年11月に商談会を開催します。

- ミニ商談会の開催
発注企業5社程度、受注企業20社程度でミニ商談会を2回（予定）開催します。

※ 詳細が決定しましたら、当センターのホームページ、情報誌「KISC」等でお知らせしますので、積極的な参加をお願いいたします。

ベンチャープラザコーナー

第60回ベンチャープラザ鹿児島「二水会」

平成26年2月12日(水)鹿児島市において開催し、第60回記念として(株)晴天(あおぞら)代表取締役白水ルリ子さんに「ピンチをチャンスに変える方法」という演題でご講演いただきました。

その後、県内の2社と県外の1社にビジネスプランを発表していただきました。(これまでの発表企業累計196社、うち県内企業143社となりました)

鹿児島発のスマートフォンアプリ「ひまナビ」を開発した「(一社)鹿児島県情報サービス産業協会」と、納豆菌研究からうまれた納豆サプリメントを開発した「(株)しか屋」の発表に、118名の参加者は興味深く耳を傾け、活発な質疑応答も行われました。

※県外でも、本県企業2社が販路開拓を目的に事業発表を行いました。

交和電気産業(株)(竹中順子さん):フクオカベンチャーマーケット(福岡県 平成26年3月19日)

南州農場(株)(岩元幸三さん):ベンチャープラザ二月会(福岡県 平成26年4月14日)

○発表その1 鹿児島発!スマートフォンアプリ「ひまナビ」の展開

(一般社団法人鹿児島県情報サービス産業協会(KISA))

一般社団法人 鹿児島県情報サービス産業協会

会長 吉満 哲也
鹿児島市名山町9-15
ソフトプラザかごしま402
TEL: 099-219-9088
FAX: 099-219-9099
E-mail: info@kisa.or.jp
URL: http://www.kisa.or.jp/



発表者の
松野下真哉氏

発表後の成果・感想

協会の認知及び本県でもスマホアプリ開発者が育ってきていることを知ってもらえました。インストール件数もかなり上がってきました。現在第二の「ひまナビ」に向けて取り組み中です。

今後の展望

広報に力を入れ「ひまナビ」のインストール件数を上げることにより、鹿児島県や県内のIT技術の知名度を広めていき、スマートデバイスは鹿児島だ!と認められるような鹿児島県を牽引する人材を育てていきたいと思います。

発表内容(周知拡大)

《企業紹介》

昭和58年10月に情報関連技術の開発促進、情報化の基盤整備等を通じ、地域情報サービス産業の健全な発展を図るとともに、地域の情報化を促進し、もって地域社会経済の発展に寄与することを目的に設立されました。現在、会員数は68社です。

《商品開発のきっかけ》

平成24年度県から受託し実施した「スマートフォン等アプリ開発人材育成事業」のAndroid講座を受講した県内IT技術者4名が実習の中で考案し制作。その後機能を追加しGoogle Playに登録し一般公開しました。

《商品の目的・特徴》

■「ひまナビ」とは

旅先で! 出張先で! 生活の中で!
ちょっとヒマな時間ができたな~と思った時! に、

- 遊びにいくところないかな~
- 買い物したいな~
- ご当地グルメ食べたいよね~

というあなたのヒマな時間をサポートする、だれでも・どこでも使える無料アプリです。



目的地選択ページ



詳細情報ページ



QRコード

○発表その2 乳酸菌に並ぶプロバイオティクス商品が世界を救う！

(株式会社しか屋)

株式会社しか屋

代表取締役社長 宮之原正治
 鹿児島市谷山港2-2-16
 TEL：099-262-0710
 FAX：099-261-8930
 E-mail：info@shikaya.com
 URL：http://shikaya.com



発表者の
宮之原 部長

発表内容（資金調達・販路拡大・業務提携）**＜企業紹介＞**

昭和28年鹿児島で創業、伝統食「納豆」「蒟蒻」を中心とする食品の製造・販売を行っています。

平成22年から納豆菌の研究開発事業を開始、平成23年にバイオ事業部を設立。納豆菌で作った特殊肥料や浄化剤等の製造・販売、納豆で作るサプリメントの製造・販売をいたしております。

＜商品開発のきっかけ＞

海外での販路拡大を目的で行った市場調査でHEALTHY JAPANESE FOOD NATTO の可能性を確信し、誰でも手軽に納豆の良さを取り入れられる食品を開発しようと考えた事がきっかけで商品がうまれました。



研 究 室

＜商品の特徴＞

納豆カプセル3粒には納豆10パック分の納豆菌が生きています。

納豆菌の培養・納豆の製造・サプリメントへの加工を現在行っているのは、日本で唯一弊社だけです。

これまで納豆の一部の成分を抽出したサプリメントはありましたが、納豆の良さをギュッと凝縮、生きたままの納豆菌をいれた商品はほとんどありません。

納豆菌は-100℃でも+100℃でも死滅せず、腸でビフィズス菌を増やす事がわかっています。乳酸菌にも負けないプロバイオティクス食品です。

また、日本では1000年の食経験があり、その安全性と有効性は誰もが知っています。世界で健康寿命を延ばす事が重要となってきた今、健康食「和食」の代表食品「納豆」は今後ますます注目されると思います。

弊社のサプリメントはこれまで長年にわたり伝承してきた独自の技術と、納豆菌の研究から生まれた、伝統的で新しいJAPANESE サプリメントです。

現在はアジアを中心に海外から多数の問い合わせをいただいております。鹿児島から日本、世界に商品を販売して参りたいと思います。



体内美人・納豆粉末・納豆カプセル

発表後の成果・感想

現在開発中の新商品の技術的課題を解決してくださる企業とお会いする事ができました。

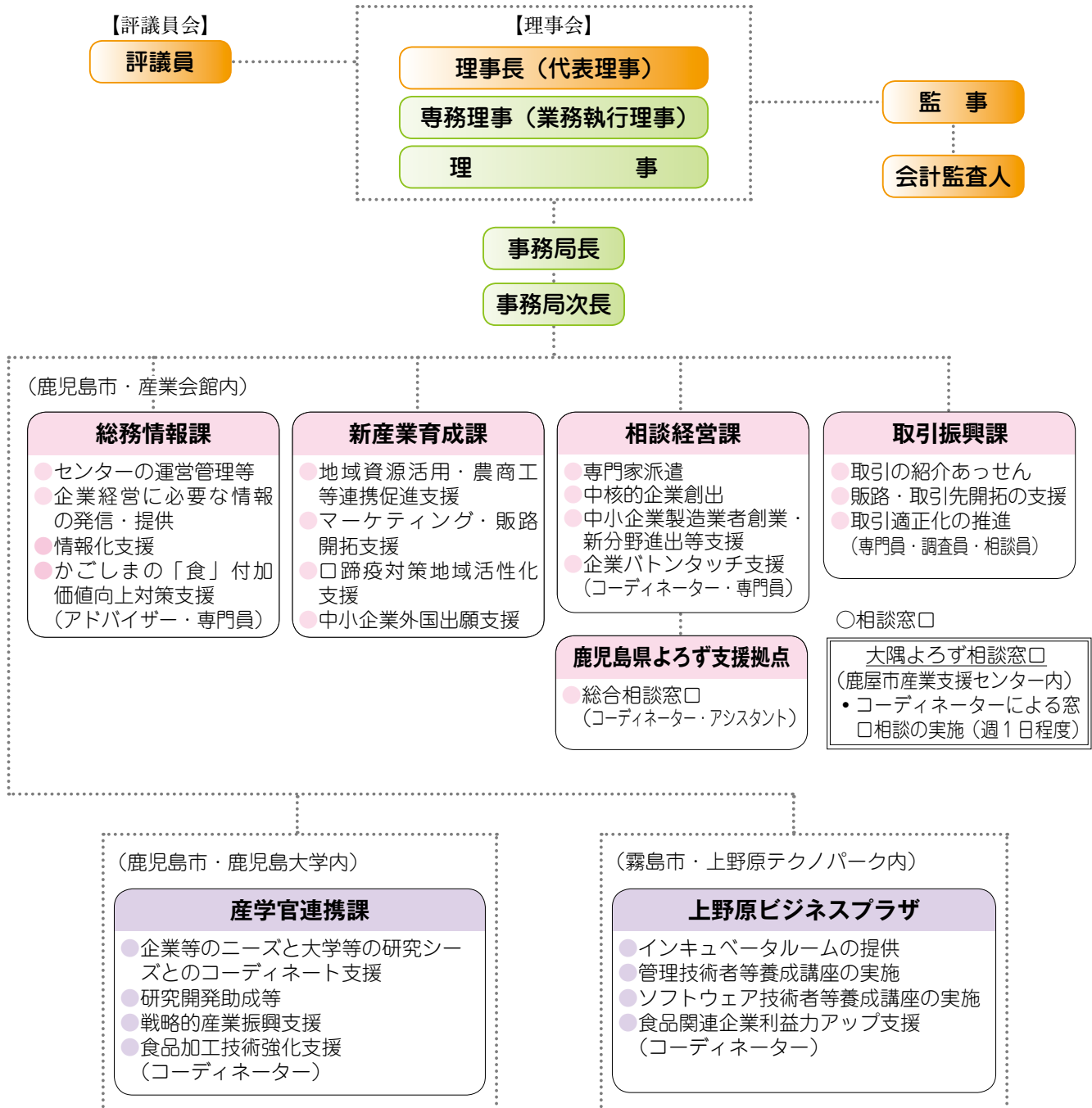
また、弊社商品の販路拡大にもつながりました。心より感謝申し上げます。

今後の展望

国内、海外での販路拡大を目指し現在具体的な商談を進めております。まずは日本、アジアで販売を開始いたします。

専門家のご協力をいただきながら、新商品開発を進め世界を目指して参ります。

公益財団法人 かがしま産業支援センター組織・機構



INFORMATION TEL・FAX・メールアドレス

課名	TEL	FAX	メールアドレス
総務情報課	099-219-1271 099-219-1275	099-219-1279	setubi@kric.or.jp info@kric.or.jp
新産業育成課	099-219-1272		ikusei@kric.or.jp
相談経営課	099-219-1273		keiei@kric.or.jp
取引振興課	099-219-1274		torihiki@kric.or.jp
産学官連携課	099-214-4770	099-214-4771	sangaku@kric.or.jp
上野原ビジネスプラザ	0995-45-3511	0995-48-5270	gyoumu@kric.or.jp
大隅よろず相談窓口 （鹿屋市産業支援センター内）	0994-41-7174 (注)不在時は、かごしま産業支援センターに転送します。		(住所) 鹿屋市北田町3番3-23号

編集後記

当センター今年度の取り組みを特集しました。よろず支援拠点事業はじめ、食品関連事業など新規事業も始まります。引き続き、皆様の相談・ニーズに迅速に対応するとともに、情報発信に努めます。

編集担当：長吉、野村
（総務情報課）